

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民の余暇活動や健康づくりを増進するため、安全で快適に市内を巡ることの必要性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	多様化する余暇活動の中で、自然とのふれあいや健康の増進が注目され、その有効性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	多様化する余暇活動の中で、自然とのふれあいや健康の増進が注目され、やすらぎ回廊を利用することによって市民に市内の名所などを知ってもらう妥当性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	効率的に市民情報を受ける体制を検討する必要がある。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 多様化する余暇活動の中で、自然とのふれあいや健康の増進が注目され、やすらぎ回廊のPRは重要と考える。今後は市民からの情報を受ける体制も整えながら、検証し、インフラ整備も考慮する中で、市民に潤いのある余暇活動を提供できると考える。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				観光マップ作成・配布、コース現況調査	検討会の立ち上げ、コース調査	マップ作成・配布、検討会によるコース調査		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.55	0.55	0.55	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	4,616	4,616	4,616	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	4,616	4,616	4,616	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 多様化する余暇活動の中で、自然とのふれあいや健康の増進が注目され、やすらぎ回廊のPRは重要と考える。今後は、市民からの情報を受ける体制も整えながら、やすらぎ回廊を検証し、インフラ整備を考慮する中で、市民に潤いのある余暇活動を提供していく。	
平成21年度の取組方針 やすらぎ回廊整備のための検討会を段階的に行う。	
課長コメント	平塚の豊かな自然を市民初め、市外の人にも周知するため、案内板の整備とPRを進めるなど事業を継続していく。